

4 潰瘍性病変

1 男性

男性の性器に潰瘍性病変またはびらんを呈する疾患には、以下のものがある。

I 鑑別を要する疾患

- A. 性器ヘルペス
- B. 梅毒(硬性下疳)
- C. 軟性下疳
- D. 鼠径リンパ肉芽腫
- E. 外陰皮膚粘膜カンジダ症
- F. 帯状疱疹
- G. ベーチェット(Behçet)病
- H. 固定薬疹
- I. 接触皮膚炎
- J. 外傷
- K. 乳房外パジェット(Paget)病
- L. 開口部プラズマ細胞症

II 疾患の解説

A 性器ヘルペス

(i) 初感染

単純ヘルペスウイルス(herpes simplex virus: HSV)に感染後2~10日後に、亀頭部や陰茎体部などの外性器に水疱性病変が多発し、後に破れて浅い潰瘍を形成する。発熱を伴い、鼠径リンパ節の腫脹と圧痛がみられ、尿道分泌物もみられる。男性同性間性的接触者の肛門性交では、肛門周囲や直腸粘膜にも病変が現れる。治療を行わない場合でも2~3週間で自然治癒する。

(ii) 再発

小さい潰瘍性または水疱性病変が単発するか、または複数個限局してみられ、疼痛などの症状は初感染に比べて軽い。治療を行わない場合でも1~2週間で治癒する。再発の頻度はさまざまであり、頻回に再発を繰り返す場合もある。再発の前兆として、外陰部の違和感や大腿

から下肢にかけて神経痛様疼痛などを伴うことがある。肛門や臀部にも再発することがある。

B 梅毒(硬性下疳)

梅毒トレポネーマに感染後10~30日で感染部位に生じた硬い丘疹(初期硬結)が潰瘍化し、後に両側鼠径部のリンパ節が硬く腫脹する。いずれも疼痛などの自覚症状はない。

C 軟性下疳

軟性下疳菌に感染後2~7日で、亀頭、冠状溝の周辺に小豆大までの紅色小丘疹が出現し、中央が膿疱化し、次いで浅い潰瘍になる。次第に潰瘍は深くなり、辺縁は鋸歯状で紅暈を伴うが、浸潤は著明でない。灰黄色の被苔をはがすと出血しやすく激痛を伴い、自家接種により数を増し多発してくる。2~3週間後に約50%の症例で鼠径リンパ節が多くは片側性に腫脹する。リンパ節は、多数軟らかく発赤腫脹し、疼痛は著しく、やがて自潰・排膿してくる。

D 鼠径リンパ肉芽腫

*C. trachomatis*に感染後約3日で、感染部位の会陰部や直腸に5~8mm大のびらんや丘疹が生じ、後に潰瘍となり、数日で治癒する。疼痛などの自覚症状はなく、気づかないことが多い。感染2~4週後に片側または両側の鼠径リンパ節が腫脹し、痛みを伴う。その後軟化、自潰・排膿し、瘻孔を形成する。一般に2~3か月で治癒するが、慢性病変として、陰茎に潰瘍を形成する場合もある。

E 外陰皮膚粘膜カンジダ症

Candida albicans(*C. albicans*)に感染後、数日で亀頭部、冠状溝周辺に発赤、紅色丘疹、水疱、膿疱、びらんなどが生じ、浸軟する。

F 帯状疱疹

外陰部の皮膚や粘膜に、片側性の浮腫性紅斑、次いで小水疱、びらん、潰瘍、痂皮を形成する。神経痛様疼痛が先行、または皮膚粘膜病変とほぼ同時に出現することが多い。治療を行わない場合でも2~3週で治癒する。

G ベーチェット病

陰嚢に好発。陰茎にも出現する。深く鋭い辺縁をもつ、やや大型の潰瘍。再発性口腔内アフタ性潰瘍、皮膚症状(結節性紅斑様発疹、毛囊炎様皮疹、皮下の血栓性静脈炎)、外陰部潰瘍、眼症状(虹彩毛様体炎、網膜ぶどう膜炎)を主徴とする疾患。

H 固定薬疹

亀頭部、包皮にかけて通常は単発、時に複数の大小不同の類円形の紅斑が出現し、次第に中央部が暗赤色の局面となる。次いで、びらんや浅い潰瘍を形成する。治癒後、色素沈着を残す。

I 接触皮膚炎

一次刺激性のものと、アレルギー性機序によるものがある。陰分泌物、抗真菌薬などの医薬品、避妊用具、尿尿、手指を介して接触する物質などで生じ、多くは境界明瞭な紅斑で痒みを伴う。炎症が激しい場合はびらんを生じることがある。

J 外傷(器物など)

性交後に生じる裂傷、びらん、咬傷が多い。

K 乳房外パジェット病

陰茎、陰嚢、恥丘、肛門、会陰に境界明瞭な湿潤傾向のある紅斑、脱色素斑、色素沈着、痂皮を伴う局面としてみられる。

L 開口部プラズマ細胞症

亀頭、陰茎に慢性に経過する境界明瞭な光沢のある赤褐色斑またはびらん。そのなかに微細な赤色点があることが特徴。中高年に多い。

III 診断の流れ

A 性器ヘルペス

・抗原検査

①イムノクロマトグラフィー法:水疱内容物を溶解液に攪拌したものを検査プレートにのせ、所定の位置に陽性バンドが出現するかを観察する。HSV-1とHSV-2との区別はできない。

②蛍光抗体法:水疱蓋、水疱底部の細胞を採取し、スライドガラスにのせ、蛍光抗体法にて検出する。型別が可能だが感度はやや劣る。

・核酸増幅法(PCR, LAMP法など:保険適用外。ただし、免疫不全状態であって、HSV感染症が強く疑われる患者のみ、real-time PCR法が保険適用。

・ウイルス培養(保険適用外)。

・血清反応(型特異的IgG抗体の検出)。

B 梅毒(硬性下疳)

・墨汁法あるいはパーカーインクで染色。

・発疹の表面をメスで擦って、病原菌を染色(墨汁またはギムザ液など)して調べる。

・生検し、組織像と病原体を検出する。

・梅毒抗体検査を行う。

C 軟性下疳

・潰瘍面の分泌物を検鏡(グラム染色やウンナ・パッペンハイム染色)。

・培養(わが国では行っていない)。

・生検。

D 鼠径リンパ肉芽腫

・抗体価(補体結合反応)。

・膿からの菌の検出。

・生検。

E 外陰皮膚粘膜カンジダ症

・水酸化カリウム(KOH)法による顕微鏡検査。

F 帯状疱疹

・抗原検査

①イムノクロマトグラフィー法:水疱内容物を

溶解液に攪拌したものを検査プレートにのせ、所定の位置に陽性バンドが出現するかを観察する。感度、特異度とも高い。

- ②蛍光抗体法:水疱蓋、水疱底部の細胞を採取し、スライドガラスにのせ、蛍光抗体法にて検出する。型別が可能だが感度はやや劣る。
- ・核酸増幅法(real-time PCR法:免疫不全状態であって、水痘・带状疱疹ウイルス感染症が強く疑われる患者のみ保険適用)。
 - ・培養(保険適用外)。
 - ・血清反応(ベア血清による抗体価の有意の変動)。

G ベーチェット病

- ・生検。
- ・皮膚の針反応。
- ・HLA 検査(HLA-B51 の検出)。

2 女性

女性の性器に潰瘍性病変またはびらんを呈する疾患には、以下のものがある。

I 鑑別を要する疾患

- A. 性器ヘルペス
 - B. 梅毒(硬性下疳)
 - C. 軟性下疳
 - D. 鼠径リンパ肉芽腫
 - E. 淋菌感染症
 - F. 外陰・腔カンジダ症
 - G. 腔トリコモナス症
 - H. 带状疱疹
 - I. ベーチェット病・急性外陰潰瘍[リップシュッツ(Lipschutz)潰瘍]
 - J. 接触皮膚炎
 - K. 外傷
 - L. 乳房外パジェット病
- 潰瘍の深さ、疼痛の有無、現病歴が鑑別のポイントとなる。これらのなかで多いのは性器ヘルペスである。

H 固定薬疹

- ・薬歴調査。
- ・内服試験。
- ・パッチテスト。
- ・薬剤によるリンパ球刺激試験(drug-induced lymphocyte stimulation test:DLST)。

I 接触皮膚炎

- ・パッチテスト。

J 外傷

- ・問診。

K 乳房外パジェット病

- ・生検。

L 開口部プラズマ細胞症

- ・生検。

II 疾患の解説

A 性器ヘルペス

(i)初感染

HSV に感染後2～10日後に、大陰唇、小陰唇、腔前庭部、会陰部にかけて水疱性病変が多発し、後に破れて浅い潰瘍になる。発熱を伴い、鼠径リンパ節の腫脹と圧痛がみられ、排尿時痛のため歩行困難にもなる。まれに頭痛や項部硬直などの髄膜刺激症状を伴う。抗ウイルス薬を使用しない場合、2～3週間で自然治癒する。

(ii)再発

小さい潰瘍性または水疱性病変が1～数個限局してみられ、症状は初感染と比べて軽い。抗ウイルス薬を使用しない場合、1～2週間で治癒する。再発の頻度はさまざまであるが、一般に初感染後、年数とともに減少していく。再発の前兆として、外陰部の違和感や、大腿から下肢にかけて神経痛様疼痛を伴うことがある。

B 梅毒(硬性下疳)

梅毒トレポネーマに感染後10～30日で感染部位に硬い丘疹が潰瘍化し(硬性下疳)、後に両側鼠径部のリンパ節が硬く腫脹する。いずれも、疼痛などの自覚症状はない。単発が多いが、オーラルセックスの場合、多発する。

C 軟性下疳

軟性下疳菌に感染後2～7日で、大陰唇、小陰唇、陰核、腔口部に小豆大までの紅色小丘疹が出現し、中央が膿疱化し、次いで浅い潰瘍になる。次第に、潰瘍は深くなり、辺縁は鋸歯状で紅暈を伴うが、浸潤は著明でない。灰黄色の被苔を剥がすと出血しやすく、激痛を伴い、自家接種により数を増し、多発してくる。2～3週間後に約50%の症例で鼠径リンパ節が、多くは片側性に、腫脹してくる。リンパ節は多数軟らかく発赤腫脹し、疼痛は著しく、やがて自潰・排膿してくる。

D 鼠径リンパ肉芽腫

C. trachomatis に感染後約3日で、感染部位の腔、外陰、直腸、時に子宮頸部や咽頭に5～8mm大の紅色丘疹が生じ、後にヘルペス様潰瘍となって数日で治癒する。疼痛などの自覚症状がないために、気づかれないことも多い。感染2～4週後に発熱、全身倦怠感が起こり、深部後腹膜および骨盤リンパ節が腫脹するために、腰痛や下腹痛を訴える。鼠径リンパ節の腫脹はみられない。下痢、便秘、下血などの直腸炎の症状を伴う。リンパ流の停滞により最終的に大小陰唇が象皮病様に腫脹し、深い難治性の潰瘍が発生してくる。この現象をエスチオメヌ(esthiomene)とよぶ。尿道および直腸狭窄をきたすことがある。

E 淋菌感染症

感染後2～7日で、多くのものは、症状は軽い。帯下が増加する。帯下は薄い、または膿性で、少し臭いを帯びる。帯下のために外陰部に癢痒やびらんを生じ、疼痛を伴う。まれに、排尿困難、下腹痛がみられる。

F 外陰・腔カンジダ症

腔カンジダ症を伴うことが多い。びらん潰瘍局面状に、粥状、ヨーグルト様の白色被苔が付着する。

G 腔トリコモナス症

性交渉後10日前後で生じるが、約半数は無症候性。悪臭のある泡状黄緑色の帯下が増加。帯下の刺激により外陰粘膜に炎症を起こし、白色被苔はない。

H 带状疱疹

外陰部の片側の皮膚や粘膜に、神経痛様疼痛が先行または同時に伴う浮腫性紅斑、次いで水疱、潰瘍、痂皮を形成し、2～3週で治癒する。

I ベーチェット病・急性外陰潰瘍(リップシュッツ潰瘍)

深く鋭い辺縁をもつ潰瘍で大陰唇に好発し、陰茎や小陰唇にも出現する。本疾患は、再発性口腔内アフタ性潰瘍、皮膚症状(結節性紅斑様発疹、毛囊炎様皮疹、皮下の血栓性静脈炎)、外陰潰瘍、眼症状(虹彩毛様体炎、網膜ぶどう膜炎)を主徴とする疾患。

急性外陰潰瘍(リップシュッツ潰瘍)は外陰部潰瘍と口腔内アフタ性潰瘍のみの症例を指す。

J 接触皮膚炎

一次刺激性とアレルギー性機序によるものがある。生理用品などの衣料品、抗真菌薬などの医薬品、避妊用具、尿尿、手指を介して接触する物質などで生じ、多くは境界明瞭な紅斑で、炎症が激しい場合はびらんを伴う。

K 外傷(器物など)

性交後に生じる裂傷、びらん。

L 乳房外パジェット病

陰唇、恥丘、肛囲、会陰に境界明瞭な湿潤する紅斑、白斑、色素沈着、痂皮を伴う局面としてみられる。

Ⅲ 診断の流れ

次に、診断を行うための検査法の概要を示す。詳細は、第2部の各疾患の記述を参照されたい。

A 性器ヘルペス

- ・抗原検査
- ①イムノクロマトグラフィー法:水疱内容物を溶解液に攪拌したものを検査プレートにのせ、所定の位置に陽性バンドが出現するかを観察する。HSV-1とHSV-2との区別はできない。
- ②蛍光抗体法:水疱蓋、水疱底部の細胞を採取し、スライドガラスにのせ、蛍光抗体法にて検出する。型別が可能だが感度はやや劣る。
- ・核酸増幅法(real-time PCR法:免疫不全状態であって、単純ヘルペスウイルス感染症が強く疑われる患者のみ保険適用)。
- ・ウイルス培養:保険適用外。
- ・血清反応(ELISA法によるIgM、IgG抗体を利用した型特異的抗体検査)。

B 梅毒(硬性下疳)

- ・発疹の表面をメスで擦って、梅毒トレポネーマを染色して調べる。
- ・生検し、組織像と梅毒トレポネーマを検出する。
- ・梅毒抗体検査を行う。

C 軟性下疳

- ・潰瘍面の分泌物の検鏡(グラム染色やウнна・パッペンハイム染色)。
- ・培養(わが国では行っていない)。
- ・生検。

D 鼠径リンパ肉芽腫

- ・抗体価(補体結合反応:L2株を抗原とする)。
- ・膿からの菌の検出。
- ・生検。

E 淋菌感染症

- ・分泌物、尿沈渣の塗抹標本のグラム染色により白血球細胞質内外にグラム陰性双球菌の検出。
- ・核酸増幅法。
- ・培養。

F 外陰・膣カンジダ症

- ・水酸化カリウム(KOH)法による顕微鏡検査。
- ・簡易培養法。

G 膣トリコモナス症

- ・膣分泌物の無染色標本。
- ・培養。

H 帯状疱疹

- ・抗原検査
- ①イムノクロマトグラフィー法:水疱内容物を溶解液に攪拌したものを検査プレートにのせ、所定の位置に陽性バンドが出現するかを観察する。感度、特異度とも高い。
- ②蛍光抗体法:水疱蓋、水疱底部の細胞を採取し、スライドガラスにのせ、蛍光抗体法にて検出する。型別が可能だが感度はやや劣る。
- ・核酸増幅法(real-time PCR法:免疫不全状態であって、水痘・帯状疱疹ウイルス感染症が強く疑われる患者のみ保険適用)。
- ・培養(保険適用外)。
- ・血清反応。

I ベーチェット病・急性外陰潰瘍(リップシュッツ潰瘍)

- ・生検。
- ・皮膚の針反応。
- ・炎症反応(赤沈値の亢進、血清CRPの陽性化、末梢血白血球数の増加、補体価の上昇)。
- ・HLA検査(HLA-B51の検出)。

J 接触皮膚炎

- ・症例の詳しい聴取。
- ・パッチテスト。

K 外傷

- ・問診。

L 乳房外パジェット病

- ・生検:表皮内に胞体が淡染する類円形の腫瘍細胞が、個々にあるいは集塊を成して、増殖しているのを認める。核異型や核分裂像を認める。